



おいしさで・しあわせをつくる

ダイショー



おいしさで・しあわせをつくる



第53期

株主通信

2018.4.1~2019.3.31

株式会社ダイショー

証券コード：2816



企業理念

おいしさで・しあわせをつくる

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第53期(2018年4月1日~2019年3月31日)の事業概況をご報告させていただくにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

ダイショーは、「おいしさで・しあわせをつくる」という企業理念のもと、豊かな食文化の創造を目指し、時代とともに変化する消費者の「食」ニーズを先取りし、「焼肉のたれ」、「味・塩こしょう」、「鍋スープ」などの多彩な製品を他社に先駆けて開発し、新たな市場を創出してまいりました。

また近年、消費者の「食の安全」に対する関心の高まりに鑑み、当社は「安心・安全」を最重要課題と位置づけ、社内全部門で真摯にこの課題に取り組み、安心・安全でおいしく、かつお客様にとって利便性の高い製品を提供することで、長期安定的な企業の発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長CEO
松本 洋助

取締役社長COO
阿部 孝博

Q 第53期の業績について
評価をお聞かせください。

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用の改善、設備投資の増加など、緩やかな回復傾向がみとめられる一方で、国内消費は底堅くも力強さに欠け、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、人口減少により内需が伸び悩むなか、販売競争の激化に加え、消費者の価値観の多様化に応じた差別化への必要性がさらに高まり、根強い節約志向への対応も求められるなど、厳しい経営環境が続きました。

こうした状況のもと、当社は、「成長」と「構造改革」を二本の柱とする中期経営計画の最終年度を、「成長分野の惣菜向けを中心とする業務用製品の積極的な売上拡大」と、「生鮮向け製品などの主力製品分野での安定的な売上確保」の実現という基本方針を継続しつつ、経営環境の変化に即応できる販売・開発体制のさらなる増強、新製品開発によるラインアップの拡充、および販売促進の積極的展開に努めてまいりました。

その結果、当事業年度における売上高は、205億72百万円(前期比0.5%増)となり、17期連続の増収となりました。利益に

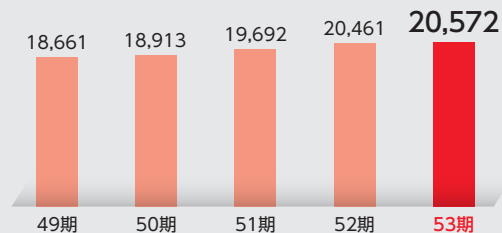
つきましては、原材料価格こそ安定的に推移したものの、人手不足を背景とする労務費・人件費関連コストの増加や、物流コストおよび燃料コストの上昇の影響を吸収するまでには至らず、営業利益は5億6百万円(同17.2%減)、経常利益は5億23百万円(同15.0%減)、当期純利益は3億26百万円(同17.5%減)となりました。

なお、当期の配当につきましては、前期と同額の、1株当たり18円とさせていただきます。

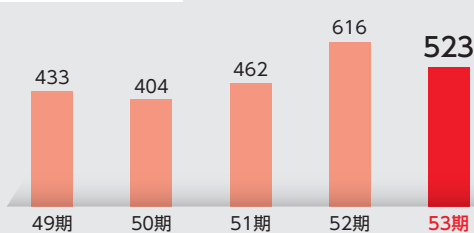
Q 製品分野別の業績について
お話しください。

液体調味料群においては、小売用製品では、主力製品の「焼肉のたれ」類が順調に売上を伸ばしました。業務用では、販売チャネルごとの専任部署を新設するなど、営業組織・人員のさらなる拡充を推し進め、お客様のニーズに即応したメニュー開発と提案を心がけた市場開拓が奏功し、精肉向け、コンビニエンスストア向け製品が大きく売上を伸ばしました。鍋用スープでは、人気の辛味系ポテトスナックの味を鍋料理で再現したコラボレーション製品『コイケヤ監修 カラムーチョ鍋スープ ホットチリ味』を新たに投入し、収益に大きく貢献しました。また、主力シリーズにおいても、

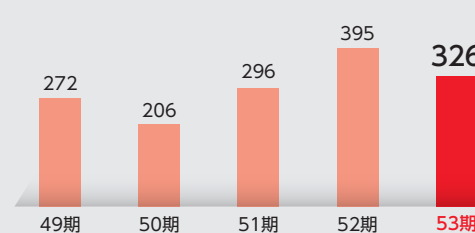
売上高 | 単位:百万円



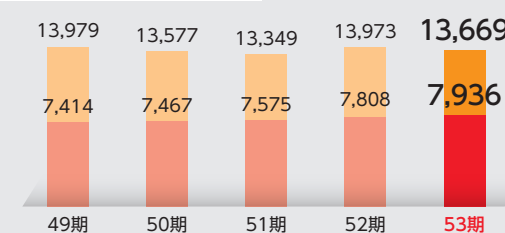
経常利益 | 単位:百万円



当期純利益 | 単位:百万円



総資産/純資産 | 単位:百万円



決算の概要

新製品の投入やリニューアルを行うなど、「コク」「うまみ」にこだわったラインアップを一層強化しました。しかしながら、暖冬の影響による鍋つゆ市場の低迷が大きく響き、スープ類全体としては苦戦を強いられました。小売用ソースでは、ご家族で手軽に人気メニューを楽しめる『ポークチャップの素』、『煮込みハンバーグソース』などの新製品が売上を牽引しました。業務用では、『にんにく黒胡椒焼ソース』などの精肉向け製品や、惣菜向けチーズソースが大きく売上を伸ばしました。

粉体調味料群においては、小売用製品で『味・塩こしょう』シリーズの詰め替え用が好調に売上を伸ばしました。業務用製品におきましても、惣菜向け、コンビニエンスストア向けなど販売チャネルごとに製品ラインアップを拡充し売上を伸ばすことができました。その一方で青汁類は厳しさを増す販売環境により、売上が減少しました。

その他調味料群においては、新製品『ピーマンの春雨炒め用セット』の投入により「野菜春雨炒め」シリーズの拡充を図り、即食製品においても、『黒のスープはるさめ』『和風スープはるさめ』を新たに投入しました。

以上のように、厳しい経営環境のなか、製品ラインアップの拡充と販売力の増強に努め、暖冬の影響により当社の柱のひとつである鍋用スープの販売が低迷したものの、概ね市場における当社製品の競争力を維持することができました。

Q 第54期の見通しについてお聞かせください。

人口の減少や少子高齢化にともなう国内市場の収縮や、今後想定される消費税増税などの将来不安を背景として、消費者の節約志向はさらに続くものと予想しております。食品業界におきましては、そうした厳しい市場環境に加え、原材料価格の高騰や今後さら

に深刻化が予想される人手不足への対応も急務となっております。

当社としましては、生鮮向け製品や鍋用スープなど、主力製品の一層の売上拡大を達成すべく、経営資源を業務用・小売用の戦略分野に集中するとともに、お客様の多様なニーズをキャッチアップする新たな価値を創造できる競争力の高い製品の開発と、販売チャネルごとに機動的かつ魅力溢れる販促提案を加速させてまいります。

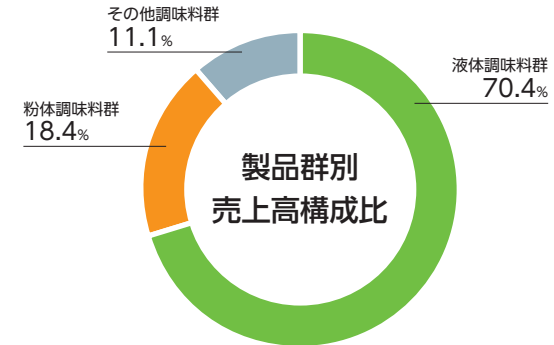
さらには、成長を継続している惣菜向けをはじめとする業務用調味料市場の開拓に引き続き注力し、積極的な売上拡大を目指します。また、世界的な食糧需要の増大やアジア・新興国の経済成長、日本食人気の拡大といったグローバルなトレンドを見据え、海外市場の開拓に向け販売体制を強化し、売上の拡大を図ってまいります。

その他、消費者の食の安心や健康意識の高まりに対応すべく、安心・安全をより強固なものとする品質保証体制の維持強化に努めつつ、健康をキーワードとする新製品の開発・投入など、市場に新たな価値を創出する製品の開発と提供に努めてまいります。

以上の具体的な課題への取り組みを加速させることにより、売上の拡大と利益率の改善を目指すとともに、将来のダイショーを見据えた次世代の販売体制づくり・組織づくりに向けた先行投資を継続することにより、今後の持続的な成長の実現を目指してまいります。

来期の業績見通しにつきましては、売上高は220億円、営業利益8億円、経常利益8億円、当期純利益5億円を予想しております。

今後もダイショーの経営理念である「おいしさで・しあわせをつくる」を価値創造の基本としつつ、当社の強みである開発力と提案力を成長ドライバーとして、お客様・お取引先各位との信頼関係を大切にしながら、社員とともに事業のさらなる成長と業務の一層の効率化に努めてまいります。



売上高	205億72百万円	前期比	0.5% 増
営業利益	5億6百万円	前期比	17.2% 減
経常利益	5億23百万円	前期比	15.0% 減
当期純利益	3億26百万円	前期比	17.5% 減

品目別売上状況

液体調味料群

たれ

小売用では主力製品の『焼肉通り』『秘伝 焼肉のたれ』が売上を伸ばすなか、『ばばっと逸品』シリーズの一部をリニューアルしました。業務用では専任部署の新設・人員拡充を一層推進し、お客様のニーズに沿ったメニュー開発・提案による市場開拓が奏功し、精肉向け、コンビニエンスストア向け製品が大きく伸長しました。

スープ

人気の辛味系ポテトスナックの味を鍋料理で再現したコラボレーション製品『コイケヤ監修 カラムーチョ鍋スープ ホットチリ味』を新たに投入し、売上を大きく牽引しました。また、キムチ鍋スープや青果鍋スープなどの主力シリーズにおいても新製品の投入、リニューアルを行い、「コク」「うまみ」にこだわったラインアップを一層強化しました。さらにコンビニエンスストア向け専用製品なども貢献しました。一方で、暖冬による鍋つゆ市場の低調の影響は大きく、苦戦を強いられました。

ソース

小売用では、手軽に人気のメニューを楽しめる新製品『ポークチャップの素』『煮込みハンバーグソース』などが売上を牽引しました。業務用では『にんにく黒胡椒焼ソース』などの精肉向け製品や、惣菜向けチーズソースが大きく売上を伸ばしました。

ドレッシング

主力の『ちぎりレタスドレッシング』は好調に推移いたしましたが、売上は横這いとなりました。

粉体調味料群

小売用は『味・塩こしょう』シリーズの詰め替え用が好調に売上を伸ばしましたが、粉末調味料全体では苦戦しました。業務用は惣菜向け、コンビニエンスストア向けなど、ラインアップを充実させ、売上を伸ばしました。青汁は大変厳しい販売環境のなか、売上は減少しました。

その他調味料群

小売用は、新製品『ピーマンの春雨炒め用セット』などを投入し「野菜春雨炒め」シリーズのラインアップを充実し、売上を伸ばさせました。即食製品では、『黒のスープはるさめ』『和風スープはるさめ』を新たに投入しましたが、暖冬の影響もあり大変厳しい状況となりました。その他業務用製品は大きく伸長しました。

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前期末	当期末
	2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,915	5,938
固定資産	8,057	7,731
有形固定資産	6,820	6,524
無形固定資産	39	27
投資その他の資産	1,197	1,178
資産合計	13,973	13,669
負債の部		
流動負債	4,214	3,959
固定負債	1,950	1,773
負債合計	6,164	5,733
純資産の部		
株主資本	7,746	7,899
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	6,610	6,763
自己株式	△114	△114
評価・換算差額等	61	36
純資産合計	7,808	7,936
負債・純資産合計	13,973	13,669

貸借対照表

- 流動比率は150.0%と前期末より9.6%向上し、返済能力がアップしております。
- 有形固定資産の減少は減価償却によるものであります。
- 負債の減少は主に短期借入金およびリース債務の返済によるものであります。
- 自己資本比率は58.1%と前期末より2.2%上昇し、さらに充実しております。

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前期	当期
	自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日	自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日
売上高	20,461	20,572
売上原価	12,011	12,036
売上総利益	8,449	8,535
販売費及び一般管理費	7,837	8,028
営業利益	611	506
営業外収益	20	32
営業外費用	16	15
経常利益	616	523
特別損失	2	9
税引前当期純利益	613	513
法人税等	218	187
当期純利益	395	326

損益計算書

- 売上高は、前期を0.5%上回り17期連続の増収となりました。
- 営業利益は労務費・人件費や物流費の上昇の影響が大きく、減益となりました。
- 経常利益および当期純利益も営業利益と同様、減益となりました。



「ダイショーのテレビCM紹介」

当社は、子どもから高齢者まで幅広い層にアピールできるバラエティに富んだCMを制作し、当社製品の知名度アップや企業のブランド力向上のために役立っています。今回はその一部をご紹介します。



手羽唐のたれ

カリッと揚げた手羽を甘辛だれでからめる。一度食べ始めると止まらないおいしさ。



レタスがおいしい
パリ麺サラダ用セット

子どもたちがみんなで楽しくサラダを盛りつけ。パリ麺サラダパーティー!



秘伝 焼肉のたれ

しょうゆをベースに様々な食材を使って、風味よく仕上げた秘伝のたれ。



味・塩こしょう
荒挽き黒こしょう

荒挽き黒こしょう・粒ガーリック・塩・調味料をバランスよくブレンド。お肉料理と相性抜群!



これからの季節にピッタリ! カン タンに作れる「おいしいサラダ」



モチ! プチ! 食感

トマトがおいしい もち麦サラダ 用セット

話題の「グレインズサラダ」が手軽に作れる!

加熱せずにそのまま食べられるように製造した「もち麦」と、ローズマリー・ローレルなどのハーブとオリーブオイルで風味豊かに仕上げた、食物繊維配合の「イタリアンドレッシング」のセットです。

お好みの野菜で
華やか・ヘルシーなサラダに!



エリンギのもち麦サラダ

かつおのカルパッチョ風もち麦サラダ

ミニトマトのもち麦サラダ

開発担当者からひと言

小売用NB商品 開発課 | 岡田 正亀

消費者の健康意識が高まっていることから現代人に不足しがちな「食物繊維」を摂ることができるサラダメニューとして開発をスタートさせました。トッピングのモチップチ!とした食感で食物繊維も多く含まれるもち麦と、食物繊維を配合したドレッシングをセット商品にしました。メイン素材はサラダによく使われるトマトとし、いろいろな野菜を入れることで彩りも楽しんでいただけます。



姉妹品のご紹介



レタスがおいしい シャキ!パリッ!食感 パリ麺サラダ 用セット

レタスのおいしさを引き立てる香ばしい「揚げ麺」とコク深い「焙煎ごまドレッシング」のセットです。ボリュームがあり、パリパリとした野菜と麺の食感が楽しめます。

★キャンペーンを実施しました★

パリサラ☆パリパーリー フォト投稿キャンペーン (2019年5月)

「野菜をおいしく、楽しく、もっと好きになる!「パリ麺サラダパーティー」」をテーマに、パリパリ麺を使った写真のInstagramへの投稿を募集し、受賞者にはオリジナルQUOカードなどをプレゼント! フォトジェニックでオリジナリティのあるアレンジサラダの写真、ご家族やご友人とサラダを楽しむパリパーリーな写真が数多く投稿されました。



新製品ラインアップ

 <p>[200g] 冷しゃぶ 塩ごま油香味だれ</p>	 <p>[260g] 豚バラこんにやくの素</p>	 <p>[100g] 糖質オフ 棒々鶏中華ごまだれ</p>	 <p>[350g] 糖質オフ 焼肉のたれ 甘口</p>	 <p>[350g] 糖質オフ 焼肉のたれ 中辛</p>
 <p>[80g] チーズタッカルビの素</p>	 <p>[103g] トマトがおいしい もち麦サラダ用セット</p>	 <p>[55g] リニューアル ぱぱっと逸品 ニラ玉炒めのたれ</p>	 <p>[55g] リニューアル ぱぱっと逸品 なすと豚肉の味噌炒めのたれ</p>	 <p>[25g] キムチ漬けの素</p>
 <p>[150ml] トマトサラダドレッシング 黒酢玉ねぎ仕立て</p>	 <p>[90g] 海鮮の春雨炒め用セット</p>	 <p>[120g] しらたき・糸こんにやくで作る 宮崎辛麺風スープの素</p>	 <p>[100g] 味・塩こしょう 減塩</p>	 <p>[575g] 焼肉通り 香味野菜しょうゆ味 575g</p>
 <p>[1.15kg] 焼肉通り 香味野菜しょうゆ味 1.15kg</p>	 <p>[170g] 台湾まぜそばの素</p>	 <p>[400g] リニューアル 焼肉のたれ 甘口</p>	 <p>[400g] リニューアル 焼肉のたれ 中辛</p>	<p>… 精肉 … 青果 … 鮮魚 … 日記 … 食品</p>

会社概要/株式の状況

会社概要

(2019年3月31日現在)

社名 株式会社ダイショー (英訳名) DAISHO CO., LTD.
 本社 東京 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
 TEL: 03-3626-9321 FAX: 03-3626-9393
 福岡 本社 〒812-0064 福岡市東区松田1丁目11-17
 TEL: 092-611-9321 FAX: 092-611-8288

ホームページアドレス <http://www.daisho.co.jp>

設立 1966年12月19日

資本金 870百万円

事業内容 たれ、スープ、粉末調味料など製造販売

従業員数 678名

役員

(2019年6月27日現在)

取締役 代表取締役会長CEO 松本 洋助
 取締役 社長COO 阿部 孝博
 専務取締役 中西 昌至
 取締役 坂田 恵補
 取締役 堀脇 裕之
 取締役 松本 俊一
 取締役 古田 龍輔
 社外取締役 本郷 伸介
 常勤監査役 牛塚 良信
 社外監査役 成清 一郎
 社外監査役 馬場 正宏

監査役

株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 …… 24,000,000株

発行済株式の総数 …… 9,868,800株 (自己株式216,088株を含む)

株主数 …… 16,702名

大株主

株主名	持株数(単位:千株)	持株比率(単位:%)
有限会社山田興産	2,442	24.75
一般財団法人金澤記念育英財団	1,488	15.07
松本賢子	853	8.64
ダイショー従業員持株会	285	2.89
松本洋助	206	2.08
株式会社西日本シティ銀行	180	1.82
株式会社福岡銀行	107	1.08

(注)当社は自己株式216,088株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

株式分布状況

(2019年3月31日現在)



株主優待のご案内

株主優待制度の内容

1 対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載された**100株以上**ご所有の株主の皆様を対象といたします。

2 贈呈品 自社製品詰め合わせ

- 1,000円相当 …… 100株以上
- 2,000円相当 …… 500株以上
- 3,000円相当 …… 1,000株以上
- 6,000円相当 …… 5,000株以上



写真は3,000円相当の製品例

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063
定時株主総会	毎年6月開催	電話照会先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)
剰余金の配当基準日	期末配当…3月31日 中間配当…9月30日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告して定めます。	公告方法	当社のホームページに掲載。 http://www.daisho.co.jp ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株		
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部 (証券コード 2816)

●住所変更、単元未満株式の買い取りのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買い取り請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行 証券代行部
TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)



〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
TEL:03-3626-9321(代)
<http://www.daisho.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この冊子の印刷・製本に係るCO2は
PROJECT-With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。

